

令和6年10～12月期の大型コンクリート製品の出荷状況は、前年比でプラス143%となっている。出荷の内訳は、大型 BOX 類が 90%で、浦佐地区改良（新潟県）・朝日温海道路（新潟県）に納入された。次いでコンクリート舗装版が 10%で、国道 159 号尾張町融雪設備工事に納入された。その他、スノーエッヅ・スノーシェルター類、長尺側溝類、の納入は無い。

大型コンクリート製品出荷量の推移 (単位：％、千 t)

県 名	令和4 年度計	令和5年度					備 考
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	累 計	
新潟県	+38	▲71	+231	+∞			
	2.50	0.44	1.56	0.84			
富山県	+0	+14	▲∞	▲∞			
	1.56	0.40	0.00	0.00			
石川県	+100	▲∞	▲∞	+∞			
	0.08	0.00	0.00	0.06			
3 県計	+23	▲53	+38	+143			
	4.12	0.84	1.56	0.90			

(注) 大型コンクリート製品とは、大型ボックスカルバート(幅4m高3m以上で分割製作されたもの)、長さ5m以上の長尺側溝類、監査廊、コンクリート舗装版(融雪舗装版を含む)、スノーエッヅ、スノーシェルターをいう。

『一般社団法人 北陸土木コンクリート製品技術協会』 <http://www.hokudocon.jp>